

80年代アニメ論・その5

ガンブラの影響

出口 憲

今日の講演内容

- はじめに
- ガンプラ前夜
- ガンプラ狂想曲
- アニメへの影響
- まとめ

はじめに

- 出口は 1969 年生まれ
- 1980 年代は 11 ~ 20 歳だったので 80 年代のアニメを見て育った
- 11 歳のとき、ガンダムがブームとなり、友達からザブングルを見るように勧められ、以後アニメを見まくるようになった
- ビデオデッキを買ってから、放送時間が重なるものはほとんど録画（週 20 ~ 30 本くらいは見ていたはず）

はじめに

- 80年代アニメを語る上で「機動戦士ガンダム」の影響は無視できないが…
- ガンダム人気の一因はバンダイよりガンダムのプラモデルが発売されたこと
- 今回はガンプラの登場とアニメにどのような影響を与えたのかを私自身の体験を交えて論じたい

ガンプラ前夜

ガンプラ以前の状況

- 当時のプラモデル：車、戦車、艦船、航空機が主流、キャラクター物は今ほどメジャーでない
- 航空機＝長谷川製作所、戦車＝田宮模型、艦船はウォーターラインシリーズ（当初、タミヤ、ハセガワ、青島、フジミの4社共同）が代表的
- プラモデルは接着必須、部品の合いも悪いので修正必須、塗装は前提の時代

そもそものバンダイ

- 今でこそキャラクター物のイメージの強いバンダイであるが、1970年代は戦車、航空機などをプラモデル化していた
- 中でも1/48戦車（機甲師団シリーズ）は内部構造まで再現してあるのが特徴で人気もあった
- 当時のバンダイは旧清水市に工場を持っていた

バンダイと宇宙戦艦ヤマト

- 1977年に宇宙戦艦ヤマト（アニメ本放送1974年）のプラモデルが発売され、一大ヒットとなる
- 特に100円で買えるメカコレクション（ノンスケールで大きさは10cm前後）が子どもによく売れた
- 当時のプラモデルは接着剤も入っており、すぐに組み立てできたので、駄菓子屋の前などでそのまま作ることも普通

ヤマト・イメージモデルの衝撃

- よほど売れ行きがよかったらしく、ヤマトのイメージモデルという怪作も登場
- イメージモデル：アニメの画面そのままの奥行き（パース）が再現されたプラモデル
- 小学生の頃、本屋の奥にあったプラモデルコーナーで見たときは驚いた

ヤマト・イメージモデル

- <https://muuseo.com/tantan121212/items/1088>より引用

真横から見ると…

斜め前から見るとカッコいい！

バンダイとキャラクターもの

- 宇宙戦艦ヤマトのプラモデルがヒットしたので、以後はキャラクターものをプラモデル化していくこととなる
- そして1980年がやってくる

ガン普拉狂想曲

ガンダムと玩具

- 機動戦士ガンダムは 1979 年から 1980 年にかけて放送された
- 当時のスポンサーは玩具会社クローバー（1983 年に倒産）
- 監督の富野喜幸はスポンサーが希望する武器や設定はすべて受け入れる
- ガンダムハンマーや G アーマーなどがそれ

ガンダムと玩具

- ガンダムの視聴者層は主に中高生
- ストーリーそのものは小学生以下の子供に受けるものではなかった
- そのため、クローバーのおもちゃは中高生にはあまり売れていないと思われる
- 1980年1月ガンダムは52話の予定が43話打ち切りで終了

バンダイとガンダム

- 本放送終了直前にガンダム人気が上昇
- バンダイは1979年12月にプラモデル商品化権を取得
- 1980年7月に1/144ガンダムを発売、当時300円
- 1980年10月ガンダムの映画化発表
- 以後、300円と700円で展開される
- このとき再放送もかなりあった

雑誌ホビージャパン

- プラモデルを扱う雑誌「ホビージャパン」がガンダムの特集を組み始める
- 最初はフルスクラッチ、やがてガンプラの作例が掲載される
- 当時のプラモデル製作者は戦車、艦船などを手掛けていたこともあり、それらのミリタリー風味をガンプラに適用した
- これが小中高生に大人気となった

How to build Gundam

- 1981年7月、ホビージャパン別冊「How to build Gundam」が発売
 - シェパードペインの「How to build DIORAMAS」が元ネタ
- 改造、塗装、デカールにより現実感のあるガンプラが猛烈な人気となる
- バンダイも人気に目をつけ、今までのガンプラにデカールをセットし、ミリタリー色を押し出したリアルタイプを発売

ガンπρα狂想曲

- 映画公開の1981年に入るとガンπραが猛烈な勢いで売れ始める
- 1982年1月24日千葉県ダイエー新松戸店でガンπραを購入しようとした小中学生が殺到、250人の将棋倒しとなり、十数名が負傷という事件が発生
- ガンπραが世間の注目を集めるきっかけになった

ガンプラ狂想曲

- プラモデル売上額が 1981 年は前年の 1.5 倍に増加
- 1982 年以降も人気は継続
 - 今のバンダイはガンプラのおかげ
- バンダイはガンプラ人気があるため、モビルスーツだけでなく、ガンダムに登場した様々な航空機や艦船までプラモ化
- ついに商品化するものがなくなる事態に

ガンプラ狂想曲

- バンダイはガンダムで登場せずにボツになったモビルスーツまでプラモ化
- プラモ化できるものがなくなったので、アニメにはない独自設定のモビルスーツ・バリエーション（MSVと略される）を展開
- 月刊OUTが発行した「ガンダムセンチリー」などの設定も流用される

ガンプラ狂想曲の終焉

- 1983年になるとガンプラが手に入らないという状況は収まってきた
- バンダイとしては次の売れるものが必要
→ 富野作品のスポンサーになる
- ザブングル、ダンバイン、エルガイムもプラモ化するが、ガンダムほど売れず
(1/100 ギャリア事件なども…)
- 1985年「Zガンダム」でガンダムが復活するも、最盛期ほど売れなかった

ガンπρα狂想曲と私

- 私が小学校 5・6 年のとき、まさにガンπραブームが到来
- 「明日どこどここの店にガンπραが入荷する」という情報が入ると学校を休む奴が続出するような状況
- 店側も悪質な抱合せ販売（人気の高いものと人気のないものをセット売り）を躊躇なく実行

ガンプラ狂想曲と私

- 出口はピーク時のガンプラブームに乗らなかった→当時は艦船、戦車を中心に製作していた
- ブームが収まってきた頃に 1/144 旧ザクを初めて買った←ここで目覚めた
- 1/144 旧ザクは肩や股関節の可動が広くなっており傑作であった

ガンプラのパチモン続々登場

- 他の模型メーカーもガンプラの売れ行きを見て同じようなものを次々に発売
- 親にガンプラを買ってと頼んだら、ガンプラじゃなかったというのはよくある話
- 詳しくは「超絶プラモ道」「超絶プラモ道2」を回覧するので、どうぞご覧ください

アニメへの影響

柳の下にどじょうはいるか？

- 青島文化教材社は富野作品の代表作「伝説巨神イデオン」をプラモ化
- タカラ（現タカラトミー）は高橋良輔作品「太陽の牙ダグラム」「装甲騎兵ボトムズ」などをプラモ化
 - ダグラムはアニメの視聴率はよくなかったがプラモが売れたので、伝説的な全75話という大河アニメとなった

柳の下にどじょうはいるか？

- 今井科学とアライは「超時空要塞マクロス」をプラモ化
 - マクロスはプラモの売上がよかったので3ヶ月延長（本当の最終回は第27話だった）、以後の超時空シリーズは、オーガス、サザンクロスと続いた
- バンダイは富野作品以外にもプラモ化
 - 「銀河漂流バイファム」など
 - 今井科学とアライが倒産した後はマクロスの金型を引き継いでいる

プラモ化前提のデザイン

- 今のモビルスーツはバンダイがプラモ化するという前提でデザインされている
 - 昔のアニメだと金属なのに伸縮したりしてアニメと同じ動きをするプラモ化は困難だった
- CGの普及により、最初から3次元でデザイン可能
 - マクロス VF-1 も無理があるが、今の VF は CG なので合理的になっている
 - CG になり画面の躍動感がなくなった気もするが...

まとめ

1980年代までのプラモの常識

- 接着剤必須
 - 接着剤の種類や用途が自然に頭に入る
- 塗装が前提
 - 筆塗り、スプレー→ハンドピース
- 工具が必要
 - カッターで指を切るのは当たり前
 - 部品の合いが悪く、パテ盛り、ヤスリがけ必須
 - ピンバイスを買ったときは嬉しかった

1990年代に入ると…

- 1990年HGガンダムの登場
 - 店頭で見てすぐ購入
 - 衝撃的な出来栄えと詳細な裏設定解説付き！
- スナップフィット
 - 部品をはめ込むだけで接着不要
- 色プラ
 - 色を塗らなくても部品が色分けされている
- ガンプラではこれらが常識となった

でも…

- スナップフィット
 - 接着するとより強度も増すし、つなぎ目も消せてよいものができる
- 色プラ
 - 色を塗らないと再現できない場所がある
 - ガンダムマーカークールという必殺技も…
- パチ組はプラモデルだろうか？
- 私が子どもの頃「プラモデルは工作じゃない」と言われたが…

ガンプラ以外は昔と同じ

- 接着剤必須
- 塗装前提
 - アマゾンのレビューを見ると、接着や塗装しないといけないプラモを非難したり、面倒だという書き込みがあったりする→ガンプラの弊害？
- 要するにバンダイが特殊すぎる

参考文献等

- Wikipedia 内の「バンダイ」、「ガンプラ」
- 石屋主人日乗、バンダイ機甲師団シリーズ
<http://ishiya.html.xdomain.jp/news/news202108.html>
- How to Build DIORAMAS、シェパードペイン、ホビージャパン、1981年
- 模型情報、バンダイ、1984～1986年ごろのもの
- マクロス情報、今井科学、1982～1983年
- 超絶プラモ道、はぬまあん、竹書房、2000年
- 超絶プラモ道2 アオシマプラモの世界、はぬまあん、竹書房、2001年